

大会規則

- 1 本大会は、2022 年度の公認野球規則を適用する。なお、連盟の取り決め事項は、公益財団法人全日本軟式野球連盟発行の2022年度版競技者必携の定めるところによる。ただし、次項以下本大会のために特別に定めた事項は除く。
- 2 試合は、6 回戦とする。ただし、降雨等で6回完了まで進まなくとも5回を終了すれば試合は成立する。
- 3 試合開始から 1 時間 30 分を経過した場合は、新しいイニングに入らないこととし、イニング数に関わらず正式試合とする。
- 4 コールドゲームの適用について
 - 4 回終了時 10点差、5 回終了時 7点差が生じたとき。(決勝戦も適用する。)
 暗黒・降雨等について

競技時間内で暗黒・降雨等で中止となった場合は、翌日の第一試合に先立って特別継続試合を行う。
ただし、翌日が平日の場合及び決勝戦は再試合とする。
- 6 通常の延長戦は行わないものとし、同点の場合は次により勝敗を決定する。
 - 最終回終了時得点差がないときは、1イニングを限度にタイブレーク方式にて勝敗を決定する。
 - ただし、1イニングを経過して同点の場合は、抽選にて勝敗を決定する。(決勝戦は勝敗が決するまで行う)
 【タイブレーク方式】

継続打順で前回の最終打者を 1塁走者、その前の打者を 2塁の走者とする。すなわち、無死 1・2塁の状態
1 イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順で繰り返す。
- 7 球場のコンディション不良、日没が迫っている場合、雷等の場合及び試合が著しく遅延している場合は、大会役員が協議して イニング数を短縮したり、タイブレーク方式を適用せず抽選とする場合がある。
- 8 投手の投球制限
 - (1) 一人の投手は、1日 70球以内とする。(4年生以下は、60球以内とする)
 - (2) 試合中、規定投球数に達した場合、その打者の打撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球
 - (3) ボークにもかかわらず投球したものは、投球数に数える。
 - (4) タイブレークになった場合、1日の規定投球数以内で投球できる。
 - (5) 牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。
 - (6) 投球数の管理は審判員が行い、投球数に関しては、抗議は受け付けない。
- 9 同一チームの監督・コーチおよび選手は同色・同形・同意匠のユニフォーム、帽子を着用すること。
また、アンダーシャツ・ストッキングは、全員同色のものでなければならない。
- 10 試合に出場する捕手は、安全のためプロテクター・レガーズ・マスク(スロートガード付)・捕手用ヘルメット及びフウルカップを着用すること。
打者、次打者、走者及びベースコーチは、必ず両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用のこと。
ヘルメットは、S・Gマークのついた連盟公認のものとし、捕手用装具も連盟公認のものとする。
- 11 スパイクの色は自由とし、全員が同色でなくても構わない。
- 12 ベンチは、抽選番号の若番が 1 塁側を使用する。
- 13 本大会の使用球は、公益財団法人全日本軟式野球連盟公認 マルエスボール J 号とし、大会使用球は大会本部が準備する。